

平山議員 3番、平山です。通告どおり、2点質問させていただきます。まず初めに、町道の維持管理についてお伺いします。通学路の除草について相談を受けることが多く、子ども達の安心安全な通学路の維持は必要不可欠であります。大人にとっては小さな草木でも、子ども達にとってはそうではありません。草木を避けようとして車道に出てしまい自動車等との接触事故につながりかねません。国道、県道、町道と重なった通学路ではありますが、維持管理の現状をお伺いします。2つ目に、近年、朝夕や夜の時間帯に健康増進のため、散歩やジョギングをされる方が増えています。とても良いことです。しかし、道路や歩道は自然との境界線であり、あらゆる危険が考えられます。獣や毒ヘビ、毒バチ、感染症を引き起こす可能性のあるマダニなどは、人にとって脅威となります。このような危険を少しでも遠ざけるためにも、道路や歩道周辺の草木の管理が重要であります。本町の除草計画はどのようなものか、お伺いします。続きまして、慰霊踊りの存続についてお伺いします。七年前に一山議員より慰霊踊りについて質問されていますが、新型コロナウイルスの影響により3年中止となった今、再開に向け質問をさせていただきます。毎年お盆に、初盆供養として昔から受け継がれてきた慰霊踊りですが、未だ後継者不足の問題が深刻であります。また、慰霊踊りの準備についても、力仕事である櫓の設置は、初盆を迎える家族の方が行うこととなっており、今までの仕様では限界を感じます。昭和47年3月1日に牟岐町としての第1号ということで、無形文化財に指定されており、伝統を守ってほしいと町内外から存続の声があります。高齢化や人口減少を踏まえ伝統を継承していくために、新しい形を模索していかなければならない現状ですが、本町としての今後の取り組みをお伺いします。以上、2点答弁お願いします。

一山議長 枳富町長。

(枳富町長 登壇)

枳富町長 平山議員の町道の維持管理について、お答えします。通学路は、保護者が家庭状況調査により学校へ登下校に使用する道路として届け出しています。国道は国、県道は県、町道は町と、道路管理者として管理区分により維持管理を行っており、子供の安全安心な通行を確保するため維持管理をしていくことは必要です。町道の維持管理の現状は、地域の住民の方や各種団体のご協力を得ながら、現場職員1名と会計任用職員

3名の4人体制で、日常的な作業として、巡回、除草、樹木剪定、舗装の簡易修繕等を行っています。除草については、パトロールを行い、また、要望箇所の現場確認をして優先順位をつけて作業をしています。除草の期間は、5月中旬から11月上旬にかけて行い、回数については、以前は、通行量の多い所から年1回から3回の除草をしていましたが、地域での草刈り作業が高齢化や過疎化による人員不足により、出役など、これまでの地域の住民の方の協力が得られなくなった所があり、また、町道以外の水路などの作業場所も加わり、直営での作業場所が増加し、現状は、数年前から年1回から2回になっています。このことから、適切な町道の維持管理をしていくため、除草作業場所を少なくすることや維持管理体制の見直しを図る必要があります。町道の除草計画は、現状の時期、回数、場所を基本に作業を行い、除草シートを活用した省力化や夏場の繁忙期について、増員や一部外部委託を検討しています。以上です。慰霊踊りの存続につきましては、教育次長よりご答弁させていただきます。よろしく申し上げます。

一山議長 枳富教育次長。

(枳富教育次長 登壇)

枳富教育次長 平山議員の慰霊踊りの存続について、お答えさせていただきます。現在、慰霊踊りの引継ぎは「牟岐音頭保存会」がしています。定かではありませんが慰霊踊りは170年程前から続いている伝統ある民俗芸能であり、当時は新仏の慰霊とともに庶民の娯楽であり社交の場でもあったようです。しかし、時代とともに、演奏者の高齢化や後継者不足、そして、その年の初盆の家族の把握が困難なことや慰霊踊りの準備や片付けを知る方々も少なくなり存続に関して様々な要因でだんだん淋しくなっています。またコロナ禍の影響で近年は開催されていません。当時、慰霊踊りの存続に尽力されていた「牟岐音頭を守る会」の方々や、現在それを引き継いでいる「牟岐音頭保存会」の方々の熱意にこたえるためにも、牟岐町指定の無形文化財である慰霊踊りを存続させるために可能な範囲でサポートやバックアップをするよう検討していきます。

一山議長 平山議員。

平山議員 町長、教育次長より丁寧な答弁をいただきました。除草作業についてですが、

道路沿いの雑草除去だけではなく、地権者との話し合いのうえ、境界線を広くするという意味で、道路に出てきそうな木の伐採も含めて検討していただきたいと思います。また今後、人口減少により除草計画も模索しなければなりません。他の自治体では、地域のコミュニティの除草作業を支援したり、業者に委託したりと、先ほども町長もおっしゃいましたが、対応を行っています。今一度、状況に合わせ除草作業の見直しをお願いしたいと思います。次に、慰霊踊りの存続についてですが、今後の人口減少も踏まえて、人口減少は、どうしようもありません。このタイミングで復活に向けての大きく変えるところは形を変えてみて、慰霊踊りの伝統を継承していただくお願いし、私からの質問を終わらせていただきます。